

# 令和元年度 キッズハウスよいちにおける自己評価結果

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。これに基づき、キッズハウスよいちの保育の質の向上を図るために自己評価を実施しました。保育園としての自己評価について、評価の項目、視点、方法および評価結果を下記のとおり公表し、評価の結果を踏まえ今後もより良い保育を提供できるよう努力していきます。尚、評価はA、B、C、Dの4段階評価とします。

A:出来た	B:まあまあ出来た	C:あまり出来ていない	D:出来ていない
-------	-----------	-------------	----------

数字は全体に対する割合を示しています

項目	内 容		評 価				総合評価
			A	B	C	D	
<b>第1章 総則 教育・保育の基本</b>			A	B	C	D	
教育・保育の基本	1	保育所に関する法令を読んだことがありますか	100	0	0	0	A
	2	「保育指針」を読み、その内容を理解していますか	100	0	0	0	A
	3	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか	100	0	0	0	A
	4	乳幼児期の教育及び保育で、生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われることを理解していますか	100	0	0	0	A
	5	乳幼児期の教育及び保育は、子どもの最善の利益を考慮してすすめることを理解していますか	90	10	0	0	A
教育及び配慮	6	あなたは、一日の生活の連続性やリズムの多様性に配慮して保育を展開していますか	78	22	0	0	A
	7	子ども一人一人に、わかりやすい温かな言葉で、おだやかに話しかけていますか	90	10	0	0	A
	8	「だめ」「いけません」など、制止する言葉を不用意に用いないようにしていますか	70	30	0	0	A
	9	登園時、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしていますか	100	0	0	0	A
指導計画と評価作成	10	指導計画や記録には、いつも養護面の配慮が記載されていますか	100	0	0	0	A
	11	入園までの個々の成育歴などを踏まえ、個別的に指導計画されていますか	50	50	0	0	B
	12	あなたの保育について反省し・評価し、それを次の指導計画の作成に生かしていますか	100	0	0	0	A
	13	日々の保育記録を、子ども一人一人の発達理解に生かしていますか	66	17	17	0	B
子どもの発達	14	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身に付け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	50	50	0	0	B
	15	あなたは、子どもと生活や遊びを共にする中で、一人一人の心身の状態を把握していますか	100	0	0	0	A
	16	子どもは様々な環境との相互作用により発達していくことを理解していますか	70	20	10	0	B
	17	子どもが、興味や関心をもったものに対して自分から関わろうとしている姿を認めたり励ましたりしていますか	100	0	0	0	A

年度初めに、園内研修を実施し保育所における法令や、保育指針についてみんなで学び合い第1回自己評価を行う。1回目の自己評価で課題を見つけ、全体での研修や、個人指導を受けながら2回目の自己評価を実施した為、全体的にA評価を多くなる。特に2回目以降も「保育指針」や、自園で保育に対するねらい、理念、保育方針について確認や、今年度の反省・次年度についての課題を深めたことで全体定評評価を上った事と思う。又個別指導計画の作成や、子どもの発達についても保育士一人一人が自信を持って取り組んでいけるように、定期的に園内研修の時間を持ち取り組んでいけるよう指導を深めていきたい。

## 第2章 「ねらい」及び「内容」

い 関 乳 及 わ 児 び る 保 内 ね 育 容 ら に	18	温かい触れ合いのなかで、心と体の発達を促すように努めていますか	100	0	0	0	A
	19	一人一人の子どもに、いつでもやさしく対応するように努めていますか	100	0	0	0	A
	20	子どもの探索意欲を満たすような活動を取り入れていますか	100	0	0	0	A
1 歳 以 上 3 歳 未 満 児 の 保 育 に 関 する ね ら い 及 び 内 容	21	安定感をもって生活できるように受容していますか	100	0	0	0	A
	22	体を動かす機会を十分に確保し、子どもが自分から動かそうとする意欲が育つようにしていますか	100	0	0	0	A
	23	食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、身の回りの清潔などは子ども一人一人の状態に応じ、落ち着いた雰囲気の中で子どもが自分でしようとする気持ちを尊重して対応していますか	50	40	10	0	B
	24	子どもの気持ちを尊重し、温かく見守り、愛情豊かに、応答的に関わっていますか	90	10	0	0	A
	25	思い通りにいかないときなど、子どもの気持ちを受け止めるようにしていますか	90	10	0	0	A
	26	玩具、絵本、遊具などに興味を持ち、それを使った遊びを楽しむような環境を用意していますか	50	50	0	0	B
	27	感覚の発達が促されるように、音質、形、色、大きさなど子どもの発達状態に応じて適切な玩具などを選んでいきますか	40	60	0	0	B
	28	自分で言葉を使おうとしたときに、応答的な関わりをしたり話しかけたり、間違っても、ありのまま受け止めたりしていますか	80	10	10	0	B
	29	「おはよう」など心のこもった日常の挨拶をしていますか	100	0	0	0	A
	30	「取ったらダメ」「貸してあげなさい」など単に行動を制止して子どもの気持ちを抑えるのではなく「どうしたの?」「困ったね」など思いを察し、共感して受け止めていますか	60	40	0	0	A
事 配 項 慮	31	歌や簡単な手遊びに慣れ親しみ口ずさんだり、歌に合わせて楽しんで体を動かすことができるようにしていますか	90	0	10	0	B
	32	身近に経験したことや生活の中で興味のあることを、自分なりにイメージを広げて表現できるようにしていますか	40	40	20	0	B
事 配 項 慮	33	一人一人の子どもが、眠いときに眠ることができる場所を用意していますか	60	40	0	0	B
	34	一人一人のおむつを交換する度に、手洗いを徹底していますか	80	20	0	0	A

園内研修を進める中で、日々子ども達との対応についての話し合いを深めることで、保育士一人一人が自信を持って子どもの思いに沿って保育が展開できてきているように思う。できるだけ禁止語や否定語は使わないように注意して保育をしている職員が多い。項目23・28・32では、B評価をつけた職員もいるので、今後の課題として勉強会を実施していきたい。身近な経験した事や生活の中で興味のある事を、自分なりにイメージを広げて表現できていないと感じている職員が多いので、公開保育を経験させたり、園内研修の中で話し合いを多く持つ事で、自信を持って保育を進められるようにしていきたい。

### 第3章 健康及び安全

支 援 健 康	35	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしていますか	100	0	0	0	A
	36	衣服の着脱や食事などについて、子ども一人できるように見守りながら援助をしていますか	90	10	0	0	A
食 育	37	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように配慮していますか	80	20	0	0	A
	38	子どもの体調に応じて、食事の量を調節するなどの配慮をしていますか	100	0	0	0	A
環 境	39	室内の温度や湿度、頭髮、爪などの清潔に心がけていますか	90	10	0	0	A
	40	保護者の気持ちに配慮し、送迎時に安心できるような関わりをもてるよう心がけていますか	100	0	0	0	A
の 災 備 害 え へ	41	地震、豪雨などの際の、園から避難場所への避難経路を把握していますか	100	0	0	0	A
	42	避難訓練を振り返り、うまくいった点や反省点を記録に残していますか	100	0	0	0	A

健康及び安全については、全職員が自信を持って取り組んでいる。衣服の着脱等子どものできない時に、大人の思いで手伝うのではなく、小さな年齢の子どもにも意思があるので、子どもの思いを聞きながら援助する事を大切にしている。

### 第4章 子育て支援

す 保 支 護 子 者 育 に 対	43	送迎の際に、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするようにしていますか	42	42	16	0	B
	44	生活に必要な習慣が身につくよう、家庭との連携に努めていますか	88	12	0	0	A
	45	保護者からの相談内容をなどを、あなた一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか	70	30	0	0	A

園内での子ども達の様子を保護者に伝える際、各保育士が任されて保護者対応をしているが、不安に思っている職員もいるので、保育園として一貫した対応ができるよう話し合いをしていきたい。

### 第5章 職員の資質向上

職 員 の 資 質 向 上	46	あなたは、園の保育理念や基本方針を正しく述べる事ができますか	100	0	0	0	A
	47	子どもの発達保障や子どもの最善の利益を考慮した保育をすすめるために、園内外の研修に参加していますか	75	0	25	0	B
	48	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識を習得したり技能の向上に努めていますか	90	0	10	0	B
	49	「保育指針」に、園の自己評価が努力義務などとして位置づけられているのを知っていますか	100	0	0	0	A
	50	自己評価など、自分の保育を定期的に振り返る機会をもっていますか	80	20	0	0	A

今年度の反省をしながら、次年度の保育園として、又自分自身の課題を見つける研修を深める中で、保育園の保育ねらいや基本方針を、自信を持ってしっかり述べる事が出来るようになってきた。今後も恒常的に保育を振り返り、話し合いの時間を深めながら、理念、基本方針について確認し合うようにしていきたいと思う。今年度は、多くの職員が園外研修に参加し、学び合った事を園内研修の中で報告し合う事で資質の向上に結び付いていることを確認する。パート職員は研修に参加することが出来ない為、園内研修の報告を閲覧で見ている。職員全員の資質が向上する為にも、短時間で勤務しているパート職員にも園内研修や園外研修の内容を細やかに伝えていくよう努力していきたいと思う。

## 総合評価

第1回自己評価を実施後、各項目について保育士一人一人が自分の課題を見つけ、取り組み具合を園内研修の中で報告し合い、第2回目の自己評価を行ってきた。今年度は、園内研修の中で保育指針の勉強や、子どもの発達や環境構成についてもたくさん学び合う事が出来たように思う。その為第2回目の自己評価ではA又はBの評価をする職員が多かった。しかし、まだ細かい部分では課題も多くあるので、今後も園内研修をさらに深め、一人一人の職員が自己研鑽に努めながら、保護者支援を大切にしながら、子どもの思いに寄り添った保育を進めていくようにしたいと思う。

毎年年2回の保育参加会を行う中で、保育に対して、又給食やおやつを試食をしていただき、保護者からアンケートをもらい保護者の意見を受け止めてきている。

今年度第2回目の保育参加会を進める中でも、子どもの心に寄り添って保育して下さり有り難いですとの評価をたくさんいただいている。今後も大人目線で保育を進めず、子ども一人一人の思いや成長に合わせた保育を心掛け、園全体で取り組んでいきたいと思う。